

萩ふるさと大使一覧表

No	氏名	業種	萩市との関わり
1	井関 隆行	(一社) 萩大志館	首都圏在住の萩出身者などで結成されたボランティア団体「萩大志館」の代表者。「ふるさとのために今できることを始めよう」を合言葉に観光・物産イベントなど日常の中でできる萩のPRを行っている。
2	和泉 元彌	狂言師	平成16年に萩開府400年記念萩市民大学教養講座特別編で狂言「松陰先生」を披露。その他、市内で各種講演会に講師として多数出演。
3	稲垣 知子	料理研究家	萩の木になるモノづくりセミナー、萩の酒まつりの講師としてセミナーを開催。全国的に数少ない女性利き酒師としての活動を通じて萩の地酒の持つ魅力をPR。
4	岡本 信人	俳優	小学生3年から6年までの4年間を萩市で過ごす。平成20年には「萩は私の原点」と題した萩市民大学教養講座を開催し、萩への想いが感じとれる。
5	奥田 政行	料理人	平成24年に萩市で「萩の旬を味わう会」を開催。「オイル・ルージュ イタリアン」の開発協力。同年にスイスで開催された「ダボス会議（世界経済フォーラム年次総会）」レセプションにおいてオイル・ルージュイタリアンを食材として使用。
6	梶山 高志	(株)ビケンテクノ	毎年、萩商工高校の卒業生を採用。大阪たちばな会（現つばき会）会長。
7	金井 美稚子	フードエディター	各種出版物で萩の魚を紹介。首都圏有名料理店の商談の橋渡しに貢献。 R3にはコーヒーマーカー（UCC）にて萩焼のコーヒーカップの紹介。
8	きただにひろし	歌手	平成20年に「男命いかの唄」を製作し、ブランド化に貢献。須佐夏まつりや萩ふるさとまつり等に出演。
9	桐木 憲一	漫画家	萩高校在学時に週刊少年ジャンプに入選して以来、各種漫画雑誌に数多くの作品を紹介。萩高校88会のしおり表紙作成などで協力。
10	熊谷 喜八	料理人	平成23年に東京と萩市で萩の食材を使用した賞味会を開催。書籍「キハチのさかな 酒の肴 萩の魚（ポプラ社）」を刊行。
11	田子 みどり		ふるさと山口法人ネットワーク理事。首都圏での萩市特産品販路拡大、ビジネスマッチングなど萩市と首都圏とのパイプ役

No	氏名	業種	萩市との関わり
12	中野 勝利	トーフレ㈱	毎年、萩商工高校の卒業生を採用。平成25年に萩市とトーフレ株式会社で進出協定を締結、新工場建設が決定
13	ビビる 大木	タレント	芸能界で自他共に認める幕末好きとして知られ、吉田松陰を松陰先生と呼ぶほど尊敬している。自身のブログで「埼玉県春日部市出身の長州藩士」いっようなほどの長州びいき。
14	松前 ひろ子	歌手	平成17年に萩市観光協会から萩観光大使に任命される。平成23年には新曲「萩みれん」を発表。
15	山本 和智	作曲家	The Molinari Quartet's International Composition Competitionで日本人初の優勝者となるなど日本国内外で名前が広く知られている。今後の音楽活動を通じて萩市への協力が期待される。
16	升 毅	俳優	佐々部清監督作映画「八重子のハミング」で主演を務める。
17	伊与原 新	小説家	令和7年1月15日第172回直木三十五賞「藍を継ぐ海」が選定され、当該作品に収録される短編作品「夢化けの島」の舞台が見島であり、萩焼（見島土）が取り上げられた。